

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛騨神岡高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月31日(金) 13:30~14:30
- 3 開催場所 飛騨神岡高等学校 ゼミナール室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

	会 長	川上 佳洋	NPO法人宇宙まるごと創生塾 飛騨アカデミー代表
	副会長	梶家 圭吾	有限会社 かんや代表
	委 員	植田 要助	地域代表
		島田 紀子	東洋建設資材株式会社 (欠席)
		田口由加子	NPO法人神岡・まちづくりネットワーク レールマウンテンバイク事務局
		田中 智枝	田中料理教室 (欠席)
		中島 一美	育友会会長
		山田ゆかり	総合型地域スポーツクラブ 一般社団法人 飛騨シューレ
	オブザーバー	都竹 淳也	飛騨市長 (欠席)
		布俣 正也	岐阜県議会議員
	学 校 側	各務 友浩	校長
		野中 明子	教頭
		大坪 篤	事務長
		楯 幸司	教務主任
		川上 登	生徒指導主事
		平野 昌之	進路指導主事
		中村 英樹	教務部特別活動担当

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 今年度の本校の取組みについて

各分掌等から重点目標等について、校長から地域とかかわる教育活動とデジタル人材育成事業について説明した。

意見1：神岡中学校3年生には、今年度の「OPEN!飛騨神」には参加するように伝えら

れており、実際に多くの中学生が来ていた。連携型中高一貫教育として協力が得られているという印象を受けた。

意見 2 : 中学校では部活動の地域移行が進んでいる中、本校の部活で、例えばロボット部や文芸部が神岡中学校と合同で部活動を行ったり、交流したりすることは可能か。

⇒部活動交流ということでは、6月に「部活動体験」を実施する。

⇒合同の部活動について。ロボット部のように費用がかかったり、設備を整えたり、専門の指導者が必要となったりする部活動での交流は、中学校側に負担をかけることが懸念される。地域にロボットにかかわるクラブ活動があれば、そこに本校の生徒が参加するということは可能だと思われる。文芸部のような、経済的負担が少なく、比較的指導を行いやすい部活動でなら中高の部活動交流が可能かもしれない。

意見 3 : 寮の Wi-fi はどのようなになっているか。

⇒昨年度、インターネットに接続可能な岐阜県学校間総合ネットワーク Wi-Fi を整備し、生徒に県から貸与されている学校のタブレットは寮で使用することはできるようになったが、個人の ICT 機器で自由に利用できるような Wi-Fi は設置していない。

意見 4 : ライフプランというのはいかのように行われているか。

⇒キャリアプランということで進路指導部が中心に行っている。

意見 5 : 自転車通学の生徒がヘルメットを着用している姿に安心している。

(2) 学校運営の基本方針について

校長から、令和 6 年度教育指導の重点及び学校運営計画、教育課程、学校運営組織について説明した。

(3) スクール・ミッションの策定について

第 4 次岐阜県教育振興基本計画と「高等学校に期待される社会的役割等（スクール・ミッション策定要領）について説明、策定に向けて、本校の「印象」「現在の姿」「社会的役割」「期待すること」など多岐にわたって意見交換した。

意見 6 : 以前、スポーツ系列が設置されていたときにあったように、スポーツで地域との交流をすることができるように。

意見 7 : 日常生活の中で、小さな子どもたちに対する本校生徒の思いやりや言葉がけ、親切的な対応に接したことがある。子どもたちにとっては憧れとなる。この姿は、学校の雰囲気や教職員の日々の声掛けで自然に育まれているものと思われる。

意見 8 : 本校の部活動に、中学校卒業後も続けたいというスポーツがないため、進学先として選択されないことがある。

意見 8 : 部活動への加入について、中学校ではすでに部活動の地域クラブ化が進んでおり、令和 8 年度には完全クラブ化され参加は自由となる。高校で部活動に加入してもらうためには、部活動の意義を伝える必要がある。

意見 10 : 飛騨地域にはそれぞれ特徴をもった高校があるが、それに当てはまらない中学生が本校を選択しているイメージがある。本校の教育活動や特色をもっと広報する必要がある。進路選択が目前に迫った中学 3 年生からではなく、中学 1 年生、さらには

小学校高学年のうちから本校のことを知ってもらい取組みをしてはどうか。

意見 11：本校の部活動ではロボット部が有名で大会での成績も新聞等で紹介されているが、他の部活動のことは知られていない。部活動での日常の生き生きとした活動の様子や生徒の思いをもっと紹介してほしい。

意見 12：本校はこれまでも地域と連携しいろいろな取組みを行っている。これからの学校は、生徒が自由に自分のやりたいことを、多様な価値観をもって取り組むことができる、将来に何ができるのかを探究することができる場所であってほしい。また卒業後、この地域を離れた生徒が、将来地元で働きたいと思えるように、地域での触れ合いや、地域と協力する活動、地域を知る取組みは続けてほしい。

意見 13：小規模の学校であるからこそ、教職員のきめ細やかな指導や支援のもと、生徒が主体的に自主的に取り組むことができていることが本校の強みと感じる。

意見 14：総合学科だからこそできる進路指導をもっと広報するとよい。総合学科には入学してから自分と向き合い、ライフプランを立て、いろいろな経験を積んで、進路実現に向かうことができるという強みがある。

意見 15：生徒が自己肯定感を高めて伸び伸びと活動でき、自分を表現できる、学校を楽しいと思えるような場所にしてほしい。また「多様な人とつながり、かかわる力の向上と心の教育の充実」を目指し、人と人とのコミュニケーションを大切にする雰囲気の中で教育活動を展開してほしい。

(4) その他

意見 16：「ひだかみアカデミア」の進捗状況について教えてほしい。

⇒今年2回目となる「ひだかみアカデミア」に向けて、今年度は組織的な企画運営を図っている。学校運営協議会をはじめ、飛騨神サポーターや地域の方にも協力を仰ぎながら進めていきたい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、参加した全委員から今年度の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針に対して承認を得ることができた。多くの意見をいただいた広報活動は、すぐに充実を図りたい。委員から出された本校に対する思いや期待をもとに、協議会以外の機会でも委員に相談してスクール・ミッションを策定し、第2回学校運営協議会で意見交流したい。